



### 治療を中断して放置は 確実に悪化します

歯科治療は、症状や治療内容によって何回か通院が必要になります。その途中で「痛みがなくなったから」「歯ぐきの状態も良さそうだから…」「忙しいから、しばらくお休みしても…」と治療を中断してしまう方もいます。しかし、治療を途中で放置してしまうと、症状は止まるどころか、見えないところで確実に悪化していきます。次のようなトラブルにならないように、最後まで治療を受けることはとても大切です。

#### 応急処置のまま中断すると

痛みが和らいでも治ったわけではありません。応急処置のまま中断すると、根本的な原因が残り、症状がさらに悪化する恐れがあります。早めに治療を受けましょう。

痛みが和らいだし様子を見ようかな



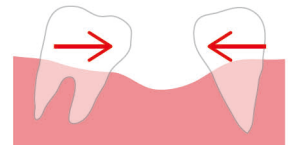
#### 仮歯のまま中断すると

仮歯は吸水しやすく軟らかいため、そのまま治療を中断すると、すり減りやすく汚れも付着しやすくなります。結果として、かみ合わせが悪化したり、臭いやむし歯の原因につながることがあります。



#### 歯を抜いたまま放置すると

歯が抜けたまま放置すると、周囲の歯が傾いたり移動してかみ合わせが悪化し、歯ぐきも痩せてしまいます。結果として治療が複雑になり、大きな負担につながります。



#### 歯周病治療を中断すると

歯周病は進行するほど治療が長引きます。症状が落ち着いたからと中断してしまうと、再来院時には状態が進んでいて、歯を抜かなければならないケースも少なくありません。



#### 歯の根っこの治療を中断すると

根っこの治療を中断すると、神経を抜いた管の中で細菌が増え、先端に膿が溜まる場合があります。腫れや強い痛みにつながり、治療が長引いたり歯を失う可能性もあります。



お仕事などの都合やご家庭の事情などで、頻繁な受診が難しい方は、お気軽にご相談ください。



### 治療した日はここに注意！

歯科治療を受けたあとは、「痛みも落ち着いたし、普段通りでいいだろう」と思ってしまいがちですが、治療直後のお口はとてもデリケートな状態です。治療内容によっては、その後の食事や行動に気を付けなければならない場合があります。



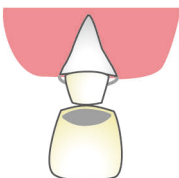
#### 麻酔をした後

麻酔が切れるまでは感覚が鈍いため、唇やほっぺを噛まないように注意し、なるべく飲食は控えましょう。特に小さなお子さんの場合は十分ご注意ください。



#### 詰め物・被せ物を入れた後

治療直後は、セメント（接着材）がまだ完全に固まっていません。そのため、食事の時間や内容には少し注意が必要です。



#### 仮蓋や仮の歯が入った時

歯の根の治療後に入れる仮の蓋や、被せ物が入るまでの仮歯は強度が弱く、外れてしまうことがあります。その部分では食事を避けるよう注意しましょう。



#### 抜歯後など外科処置後

激しい運動や飲酒は避け、処置した場所ではしばらく噛まないようにしましょう。あわせて、歯科医師からの注意事項も必ず守りましょう。

